

普及だより

きみつ

〒292-0833 木更津市貝渕3-13-34 TEL. 0438(23)0299
<https://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kimitsu/> FAX. 0438(23)6698

発行
 千葉県君津農業事務所
 君津地域農林業振興普及協議会

編集
 千葉県君津農業事務所
 改良普及課



園主の金子氏の説明



草抜き、ホチキス止め作業の様子



育苗トレーの洗浄（作業委託後）



視察の様子

農福連携を取り入れた視察研修会（イチゴ） ～労働力補完の取り組み事例～

君津地域は、東京湾アクアラインを利用した都心からもアクセス良好な立地条件を活かした観光摘み取りや直売を行うイチゴ園が数多くあります。若手生産者や新規参入者が地域で円滑に営農や技術向上ができるよう、農業事務所では、定期的に研修会を開催しています。今回の研修会は令和6年11月14日に労働力補完の一環として、農福連携（農業と福祉の連携）を取り入れた柏市のケンズガーデンを視察しました。農業の担い手不足や高齢化などの問題は年々深刻化が進んでいる一方で、障がい者の就労や自立支援は社会的な課題となっており、農福連携の取組は新たな働き手の確保につながる可能性があります。

視察当日は、7名が草抜きやマルチ止めの作業を行っていましたが、周年で作業委託を行っています。園主の金子さんからは、この取組を進めていく中で、働きやすい環境づくりを意識することになり、みんなで楽しく仕事することによって自分のモチベーションも向上しているとお話を伺いました。

視察後の意見交換の場では、現場で労力が不足している作業として、イチゴの葉かきと収穫作業が挙げられ、労働力補完として君津地域での農福連携の取組に期待が高まりました。

（古谷）

スマート農業技術の認定 制度がスタートしました

農業者の減少等の農業を取り巻く環境の変化に対応し、農業の生産性の向上を図るため令和6年10月1日に、スマート農業技術活用促進法が施行されました。

本法により、スマート農業技術を活用して生産性向上に取り組み農業者等への新たな支援制度である「スマート農業技術の活用及びこれと併せて行う農産物の新たな生産の方式の導入に関する計画（生産方式革新実施計画）」認定制度が開始しました。

ア 認定対象となる事業活動
 ※1 スマート農業技術の活用と農産物の新たな生産の方式の導入をセットで※2 相当規模行い、農業の生産性を※3 相当程度向上させる事業活動。
 （例）ロボットトラクタの活用十ほ場の合筆 等）
 ※1 スマート農業技術：①農業用の機械・ソフト等に組み込まれる技術、②情報通信技

術を用いた技術、③農作業の効率化、負担軽減、経営管理の合理化等のための技術全てを満たす技術。

※2 相当規模…本事業活動で取り組む品目における、申請者の作付面積等のおおむね過半で取り組むこと。

※3 相当程度…①農業の労働生産性を5%以上向上させること。②本事業実施前と比較し、所得が維持されること。またそれがプラスとなること。
 イ 認定のメリット
 ・日本政策金融公庫の長期低利融資（スマート農業技術活用促進資金）
 ・行政手続（農地法・航空法）のワンストップ化
 ・野菜生産出荷安定法の特例
 ・生産方式革新事業活動に必要なとなる機械等の取得をした場合、特別償却の適用
 制度の詳細は農林水産省HPを御確認いただくとともに、相談・申請については、関東農政局へ御連絡ください。（田村）

農業経営体育成 セミナー生を募集！

農業事務所では、新規就農した概ね45歳までの方々を対象に毎年、農業経営体育成セミナーを開催しています。当セミナーでは、生産技術や経営に関する知識習得、先進農家への視察等を行っており、これらを通じて、セミナー生は実践的な経営管理の手法を学んでいます。基本、専門、総合コースの順に3年間で段階的に学び、農業経営者としての資質向上を図っています。



先輩農業者経営訪問

また、農業を行う上で、地域の同業者に仲間がいること



先進経営体訪問

は重要なことから、セミナーを通じて仲間づくりも行っています。



意見交換会

参加費は無料ですが、会場までの交通費、飲食代等は自己負担となります。募集は、例年5月上旬まで行っていますので、御興味のある方は、農業事務所までお問い合わせください。（神子島）

会員・受講生募集

○きみつ農業女子ネットワーク
 君津地域の女性農業者組織で若手からベテランの方まで、会員は17名です。会員同士の交流、農業の知識習得等を目的に視察やマルシェへの出店、研修会を開催しています。女性農業者の仲間が欲しい、家庭と農業の両立を相談したい、農業の素晴らしさを発信していきたい等、たくさん学びやコミュニケーションの場が用意されています！君津4市の女性農業者の方を募集しております！

○きみつアグリ塾
 女性農業者向けの研修会です。令和6年度は合同庁舎マルシェや安房地域への視察研修・交流会を行いました。次年度も引き続き開催予定です。新たな知識を得たい方、君津地域の仲間との出会いを求めている方などの御参加をお待ちしております！
 （後藤・小笠原）



令和6年10月19日に、三井アウトレットパーク木更津・ピアストリートにて「南房総いいものマルシェ」を開催しました。

主催は、きみつ農業女子ネットワーク、きみつ4市起業家ネット（いずれも君津地域の団体）、安房地域女性農業者組織「ひだまり」（安房地域の団体）の3団体で、企画・運営を出店者全員で取り組み、採れたて野菜や加工品などを販売・PRしました。なお、農業事務所では、三井アウトレットパークとの調整、出店者会議や当日の運営の支援を行いました。

当日は、自身の商品を紹介するステージイベントやガラポン抽選会、また、チーバくん撮影会など様々なイベントを開催し、大盛況となりました。ステージ上で出店者自ら商品の紹介を行うことにより、多くのお客様に商品をPRすることができました。商品紹介を聞きつけて来店されたお客様もいらったようです。

また、今回のマルシェは会員同士

の交流も目的の一つとしており、君津地域と安房地域で地域を超えて交流を深めることができました。マルシェに初めて出店された会員もいましたが、全員で助け合いながら販売することができました。

農業事務所では、今後も研修会やマルシェの開催などを通じて、地域の生産者同士のネットワークづくりや生産物の販売・PR等の支援を行っていきます。

（橋本）



商品紹介ステージイベント



マルシェでの販売の様子

袖ヶ浦市大鳥居地区の集落営農組織の設立に向けて～先進地視察研修会を開催～

袖ヶ浦市大鳥居地区では、水田の基盤整備事業が始まり、担い手への農地の集積・集約を目的とした集落営農組織の設立を目指しています。当事務所では、集落営農組織の運営や省力化機械の導入事例を学ぶために、令和6年7月9日（第1回）と令和6年10月4日（第2回）に、視察研修会を開催し、大鳥居地区の担い手、土地改良区事務局長、市役所の担当者が参加しました。

第1回研修会では、旭市の農事組合法人おうめいワクワクお米クラブを視察しました。当法人では水稲経営50haを協業化しており、構成員それぞれが約10haのエリアを担当し栽培管理を行っています。組織の運営方法や既存施設の活用方法について、理解を深めました。

第2回研修会では茨城県坂東市の藤井ファームを視察しました。当農園は水稲52ha、レタス（裏作）3ha、ネギ4haを生産しています。労働力は経営主本人、家族2名、実習生4名と少人数ですが、自動操舵システム

やドローンをはじめとしたスマート農機を活用し、効率的な運営をしています。当日はライスセンターや所有機械を見学し、省力化機械・技術の導入について学ぶことができました。2回の視察研修会を終えて、参加者からは「組織の運営方法や導入機械・設備の規模などが参考になった。集落営農組織の設立に向けて、より具体的に考えるきっかけとなった。」との声が聞かれました。

農業事務所では、今後も関係機関と連携し、地域にあった営農組織の設立に向けた取組を行っていきます。

（加藤・元吉）



第2回視察研修会の様子

令和6年度 農業士・指導農業士認証者を紹介します

令和6年度、君津地域では新たに農業士3名、指導農業士3名が知事から認証されました。農業士は、地域農業の担い手のリーダーとして、指導農業士は地域農業の振興や農業後継者の育成に関する役割が期待されます。今年度、新規に認証された方々を紹介します。

農業士

☆山田 和也氏（木更津市）



木更津市大寺地区において、地域の農地を守るべく、地域の担い手生産者と連携しながら、レタス、トウモロコシ、水稲などを栽培しています。また、木更津市園芸出荷組合長、JA木更津市青壮年部長を歴任し、世代を問わず

地域の生産者とコミュニケーションを図り、地域農業の発展に貢献しています。木更津市の農業を支えていく担い手として、今後もさらなる活躍が期待されます。

☆地曳 公伯氏（木更津市）



木更津市万石地区において、地域への貢献を信念に、ブロッコリー、トウモロコシ、ネギ、キャベツなどの露地野菜を生産しています。また、販売イベントへの出店や、「J B K F A R M」の

屋号で親しまれる直売所を設け、販売の多角化に取り組むとともに、収穫体験イベントを開催し、消費者交流も積極的に行っています。地元住民に愛される農家を目指し、日々奮闘されています。

☆鈴木 真紀氏（富津市）



富津市中地区において、水稲、ブロッコリー、サトイモを栽培しています。これまで水稲専作であった経営に、新たに野菜部門と加工部門（モチ）を導入し、経営の

多角化に積極的に取り組んでいます。また、自身が所属するJAきみつ富津野菜部会では、部会員への栽培指導を行い、部会全体の技術向上に貢献するなど、周囲から信頼される中心的存在として活動されています。

指導農業士

☆森田 泰彰氏（富津市）



富津市青木地区で主にメロンの周年栽培を行うとともに、若手農業経営者の集団である株式会社百姓王の代表取締役 CEOを務めており、若手農業経営者の情報交換の場をつくるなど担い手育成にも貢献しています。農業の楽しさを一般消費者にも理解を深めてもらうため、YouTubeで発信中です。

☆増戸 裕幸氏（袖ヶ浦市）



袖ヶ浦市川原井地区で酪農と肉用牛を飼養しており、飼料費の低減や家畜ふん尿の地域循環を図るため、農事組合法人袖ヶ浦WCSを立ち上げて、稲WCS等自給飼料生産に取り組んでいます。酪農経営を楽しむという理念で、農業大学校等の研修生

の受け入れや小学生の農業体験の受け入れを積極的に行っており、農業後継者の育成に貢献しています。

☆北川 貴基氏（袖ヶ浦市）



袖ヶ浦市林地区で採卵鶏経営をしており、オリジナル配合飼料や鶏の健康管理に配慮した飼養管理体制と衛生対策や検査マニュアルによる生産管理体制によって高品質で鮮度の高い卵を安定的に生産し、各共進会で5回農林水産大臣賞を受賞しました。販売は高品質な卵を求める洋菓子店やパン製造業などへ独自ブランドにより有利販売しています。

県の経営研修会では、経営管理に関する講師を務めるなど活躍中です。（小川・柴田）